

【 株式会社ヤマダ電機 月次IR情報 】



■ 2015年3月期（自2014年4月1日 至2015年3月31日） 売上高前年比推移（POSベース）

【全店POSベース売上速報】

（単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計 (単純平均)
(携帯除く)グループ：全店	84.8%	90.4%	86.3%	90.7%	91.5%	83.5%	90.0%	93.1%	88.5%	83.9%	80.2%		87.5%
(携帯除く)グループ：既存	85.2%		87.0%			89.8%			—			87.3%	

注1： 2013年4月度より集計方法をベスト電器を含む速報値に変更しております。

注2： 数値は、店舗POS速報データに基づいており各月及び累計の数値は決算の数値とは異なります。

また、卸売上、ソリューションビジネス関連売上、各種取次手数料売上等のPOSベースではない売上は含まれません。

注3： スクラップ&ビルド該当店舗について、スクラップ店舗は閉鎖店とし集計に含めておりません。

注4： 2014年4月度より、(株)ベスト電器の前年実績も考慮したグループ集計に変更しております。

■ 月次概況説明

2015年2月度は、曜日による影響はありません。

前年の消費増税前駆け込み需要の発生により分母が大きくなっています。

大物家電は耐久消費財としての反動減が続いており、テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、パソコン本体

（前年のXP特需後の反動減含む）等が伸び悩みました。中でも、テレビについては、デジアナ変換需要の発生もあり、

数量ベースでは大きく伸ばしましたが、買い替えの中心が32インチ以下の中小型で、金額ベースでは伸び悩みました。

クリーナー、理美容、調理家電等については、大物商品を中心に家電市場が全体的に伸び悩む中、平均単価の上昇も

見られ、比較的堅調に推移しました。

■ 当期の売場面積推移

（連結ベース：速報集計）

（単位：㎡・％）

期初		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	経過月計	累計	期初比
2,671,265	開店	8,723	7,284	13,344	4,919	11,052	14,052	12,690	16,450	6,666	13,304	0		108,484	2,738,717	102.5%
	増床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		
	閉店	-4,635	-6,310	-87	0	-3,800	-8,273	-5,712	-6,957	-1,418	-3,840	0		-41,031		
	計	4,089	974	13,257	4,919	7,252	5,779	6,978	9,493	5,248	9,464	0	0	67,452		

本月次IR情報の内容は、発表日時点で入手可能な情報に基づき当社月次概況の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資等の最終決定は、ご自身の判断と責任において行われますようお願いいたします。本月次IR情報中の数値及び画像等の各データ、説明、イメージ、見解や予定は、多分に不確定な要素を含んでおり、予告なしに変更されることがありますので、予めご了承くださいませ。株式会社ヤマダ電機及びそのグループ各社の役員または従業員は、本資料の使用、その内容から生じる直接的、間接的または派生的な損害または損失に対して一切責任を負うものではありません。また、データのダウンロードによって生じた障害や第三者によるデータ改ざん等に関し、いかなる理由があっても一切責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。